



TOHOKU
UNIVERSITY

報道機関 各位

平成 28 年 3 月 2 日

東北大学大学院歯学研究科

「お口の成長記録手帳」を亙理町立小学校・中学校の卒業生に贈呈

【概要】

東北大学大学院歯学研究科（研究科長：佐々木 啓一）は、東北大学災害復興新生機構・復興アクション事業の一環として、「お口の成長記録手帳」を亙理町立小学校 3 校、中学校 2 校の平成 27 年度の卒業生に贈呈しました。この手帳は乳幼児から学齢期までの口の健康管理システム手帳として制作し、この度は学校歯科健康診断の結果を記載したものです。この手帳を利用することにより歯科保健推進の強化を図り、生涯の健康を育む口の健康づくりを目的としています。

【詳細な説明】

東北大学では、東日本大震災の被災地域の中心にある総合大学として、東北復興・日本再生の先導を目指して、教職員が自主的に取り組む復興支援プロジェクト「復興アクション事業」を展開しています。大規模震災後には、生活習慣と食生活習慣の乱れが問題となり、子どもたちの健康被害が危惧されます。そこで歯学研究科は、平成 25 年から亙理町と歯科保健連携協力に関する協定の締結をし、子どもの歯科健康診断情報収録システムの構築とデータベース化を実現し、歯科保健推進の強化を図ることにより、子どもたちの口の健康支援に取り組んできました。

東日本大震災から 5 年が経とうとしていますが、甚大な津波被害を受けた地域の子供たちの口をはじめとする健康状態は、大きな悪化はみられないものの、心配な状況に変わりはありません。子どもの健康は地域での支援が不可欠であり、亙理町の子供たちの口の健康も地域の歯科医師の先生方の支援により守られています。そこで、歯学研究科では、復興アクション事業の一環として、「お口の成長記録手帳」を製作しました。この手帳は、歯科健康診断情報収録システムによる口の健康支援ツールとして、乳幼児から学齢期までの情報を一貫して生涯の記録として管理できます。この手帳を利用することにより、歯科保健の推進を強化し、生涯の健康を育む口の健康づくりを目指します。

この度、「お口の成長記録手帳」を亙理町立小学校 3 校、中学校 2 校の平成 27 年度の卒業生に贈呈することにより、被災地の子どもたちが学校生活を通じた自身の口の成長と健康の状態を振り返り、力強く学校から巣立つことを望みます。

（問い合わせ先）

東北大学大学院歯学研究科

担当 小関 健由、伊藤 恵美

電話 022(717)8327、022(717)8318

E-mail chiikishika@tohoku.ac.jp